

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	文化人権課担当課長 菅原 良	
共創-18	実施事業	■ 自治事務 □ 法定受託事務	主管課	文化人権課(人権・男女共同参画担当)
	まち・ひと・しごと		関連課	
国際交流推進事業				
総合計画上の位置付け	分野	多文化共生社会	施策の方針	多文化共生社会の推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市民の国際交流・国際協力活動への支援を行うとともに、多文化共生社会への理解を促し、国籍や文化の違いを認め合い、外国籍市民とともに暮らしやすい地域づくりを進めるため。
効果	行政レベル、市民レベルともに、国際理解や多文化共生社会への理解を進展させ、地域の国際化を進めることにより、世界に開かれたまちづくりを図る。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 国際交流や国際協力をテーマとした講座を開催した。 国際交流や国際協力をを行う市民団体の活動の活性化のため、国際交流フェスティバルを開催した。 市と市民団体が連携し、市と団体及び団体間でのネットワーク化や情報の共有化を図った。 外国籍市民等からの要望を受け、市民通訳ボランティアを派遣した。 国際交流員を配置し、ホストタウン構想に基づき、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の参加国・地域との国際交流事業を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)決算		02年度(2020年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	176,608人	83,058世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	4,328	4,370	当初予算(千円)	4,880		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他			その他			
	一般財源	4,328	4,370	一般財源	4,880		
事業経費運営	人員配置数	0.5	1	人員配置数	1.0		
	人件費(千円)	7,959	8,257	人件費(千円)	9,417		
	総事業費(千円)	8,308	12,627	総事業費(千円)	14,297		
	市民1人当りの経費(円)	47	72	市民1人当りの経費(円)	81		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンドで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
	協働実施済	協働実施済の場合のパートナー 国際交流・協力団体連絡会
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直し <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
	事業へ統合	
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由
	2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、国のホストタウン構想に基づく国際交流事業を、過剰な経費をかけずに、手づくり感のあるおもてなしを心がけ、相手国の関係者の要望に合わせながら実施していく。	
総評(評価に対する考え方、根拠等)	1年延期となった2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を控え、国際交流への市民のニーズは増大していくことから、市民全体の応援機運の醸成を図る事業に取り組んでいく。	

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	フランスのホストタウン、フランスセーリングチームの事前キャンプ地としての国際交流事業についての検討と実施	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> フランスのセーリングチーム代表選手と深沢小学校児童の交流事業を実施した。 フランスのセーリングチーム代表選手と市民による江の島ヨットハーバーでの交流イベントを実施した。(交流イベントに加えてクルーザーによる海上からのセーリング練習見学を企画したが台風の影響により中止) 	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	1年延期となった2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を控え、国際交流への市民のニーズは増大していくことから、市民全体の応援機運の醸成を図る事業に取り組んでいく。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	国際交流フェスティバルの規模(参加団体数)					単位	団体	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)		H30(2018)	R01(2019)		
当該事業の主要イベントであり、イベントの規模を測る指標であるため。	目標値	20.0	20.0	20.0	20.0		20.0	20.0		
	実績値	20.0	17.0	18.0	17.0		18.0	18.0		
	達成率	100.0%	85.0%	90.0%	85.0%		90.0%	90.0%		

指標の内容	市民通訳ボランティアの活動実績(派遣回数)					単位	回	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)		H30(2018)	R01(2019)		
国際交流の担い手となることから、活動件数が事業の推進状況と比例するため。	目標値	5.0	5.0	5.0	5.0		20.0	5.0		
	実績値	0.0	3.0	7.0	1.0		0.0	1.0		
	達成率	0.0%	60.0%	140.0%	20.0%		0.0%	20.0%		

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	
-----------------------	--